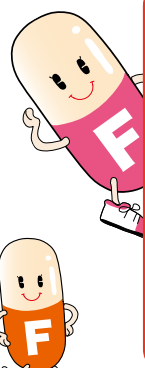
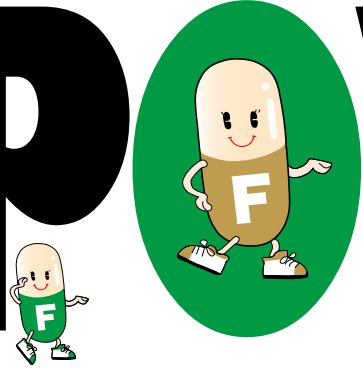


POWER!



2023年
1月
vol. **83**

令和5年(2023年)
1月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月発行

<http://www.yakuren.jp>

新年のご挨拶

日本薬剤師連盟 会長 **山本 信夫**



新年明けましておめでとうございます。本紙をお読みの皆様におかれましては、お健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2020年に新型コロナウイルス感染症の感染者が確認されて以来、3年の時間が経過しましたが、終息の兆しが見えつつもさらなるパンデミックが懸念されております。こうした困難ともいえるべき緊急事態にあっても地域の薬局・薬剤師の皆様は、地域住民の医薬品需要に対応するため、自らの感染防御対策を講じつつ処方箋の調剤やOTC薬の提供等を通じて、地域医療の確保に貢献してこられました。その心意気とご努力に心より敬意を表するものです。また、昨年7月に行われた、第26回参議院議員通常選挙においては、2016年藤井基之先生、2019年本田頭子先生に続き、神谷まさゆき先生を国会に送り出し、日本薬剤師連盟の長年の悲願でもある、組織代表二人体制を維持することが出来ま

した。これもひとえに、都道府県薬剤師連盟並びに会員諸氏のご支援の賜であり、国政における薬剤師の存在意義と発言権の向上に大きく貢献できたものと思っております。

そして、この力を維持すべく昨年9月の臨時評議員会で、次期参議院議員選挙においては、本田頭子先生を組織内統一候補として戦う事の決意を固めて頂きました。2期目のジレンクスに打ち勝ち、組織代表二人体制を維持するためには、不断の努力と組織固めが不可欠です。我々は三度夢を実現しました。もう夢ではなく日常の事、それを維持するためにぬかりなく、弛まぬ努力を続け、次の目標に向けて、万端の準備を始めなくてはなりません。

末筆ながら、今年が皆様にとりまして良き年となりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶とします。

新年のご挨拶

日本薬剤師連盟 幹事長 **川田 哲**



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、お健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。まずはコロナ禍の中での2年半にわたる活動の結果、昨年7月の参議院選挙において藤井基之先生の後継として組織内統一候補の神谷まさゆき氏が初当選し、本田あきこ参議院議員との2人体制を引き続き堅持できたことにつきまして改めて感謝を申し上げます。

さて、終息の目処がつかない新型コロナウイルスとの共存も3年目を迎える中で、我々の生活スタイルや仕事においても様々な変化がもたらされています。国からは新型コロナウイルス地方創生臨時交付金など様々な支援策がなされておりますが、都道府県による支援策のバラツキなどもあり、まだまだ充分ではないと考えます。また、医薬品供給や薬価の中間年改定、医

療デジタルを基盤とした薬局業務の高度化など課題は山積しており、連盟活動の重要性は増すばかりであり、薬剤師議員の必要性も更に高まっています。

これからは、組織内統一候補として本田あきこ参議院議員が2回目のチャレンジをします。2回目の選挙は厳しい洗礼を受けることも多く、また現職であるがゆえ現場をなかなか廻れないなどのジレンマもあり、相当のバックアップをしないことには良い結果が出ないと考えます。現場の意見を国政に届けるためにも、参議院議員2人体制を継続できるよう都道府県薬剤師連盟の先生方と共に戦って参りたいと思っております。

本年が皆様にとって良い年となることを祈念しますとともに、連盟活動へのご理解と引き続きのご協力とご支援をお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

日本病院薬剤師連盟 会長 **木平 健治**



新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ると、新型コロナウイルスに翻弄され続けた1年でした。ワクチンも複数回の接種が進んでいますが、第6波、7波を経験し今は第8波に入ったようです。加えてロシアによるウクライナ侵攻が始まり、世界を震撼させています。今後も世界のエネルギーや食糧事情への影響が懸念されるところです。

あまり明るい話題のなかった1年でしたが、サッカーワールドカップでは、初のベスト8には届かなかったものの、強豪ドイツおよびスペインを撃破し、決勝トーナメント進出を果たすという明るい話題を届けてくれました。そして、何にもまして喜ばしいことは、長年参議院議員として我々を応援して頂いた藤井基之先生の後継として神谷まさゆき氏が見事当選されたことでしょうか。是非とも薬剤師議員として、薬業界の発展のため政治の場で活躍頂きますよう、よろしくお祈り申し上げます。

ネットでも検索したところ、2023年は癸卯の年で、「癸」と「卯」の組み合わせから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するよううな年になると考えられるようです。

本年が明るい年になることを祈念してまいります。

新年のご挨拶

日本女性薬剤師連盟 会長 **近藤 由利子**



明けましておめでとうございます。コロナ禍の去らぬ年の始めとなりましたが、皆様方にはお元気に新年をお迎えの事と存じます。

旧年中は日本女性薬剤師連盟への暖かいご支援を賜り、有難うございました。

医薬品医療機器等法の改正以来、薬局と薬剤師の職能の向上がより一層期待されております。データヘルズ改革が謳われ、患者にとってのベストな医療を選べる具体的な施策が具体化され、薬剤師には医療安全を基盤とした真のセルフメディケーションを患者に指導する責任が生じていると考えられる現状です。

昨年、皆様方のご支援により、見事に当選されました神谷まさゆき氏は、氏の政策に示されている地域医療等にも関連した厚生労働委員会等に属しており、現在、厚生労働大臣政務官を務める本田頭子氏と共に、新型コロナウイルス感染症対策などに積極的な公衆衛生分野からの政策研究を進める活躍を伺っています。

数多い国会議員の中で、国民の健康と医療を薬剤師の目線で見据えるお二人の活躍を心から期待する次第です。今後共、暖かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

日本女性薬剤師連盟は、今年も皆様からのご支援、ご指導の下、活動理念に添った新時代の活動を行って参ります。よろしくご指導のほどをお願い申し上げます。

風力計



日本薬剤師連盟 副幹事長 **中原 靖明**

職場や各種会議、研修会のリモート化により、様々な仲間と時間と場所を共有することが少なくなった今、人との関係性や新しい時代の働き方に戸惑うことが多くなりました。コロナ感染症の蔓延によりZoomなどのリモート会議が以前より増えました。初めは移動時間の短縮や移動経費の削減など、こんなに便利な機能をなぜ今まで導入しなかったのかと思っておりましたが、いくつかの問題点も指摘されています。

まず、タスクをこなすことに精一杯になり参加者それぞれが目的を忘れて目線がバラバラになって、「なんのためやっているのか」わからなくなることがあります。「どうしてやるのか」「どうして今なのか」「どうして私たちなのか」「何のメリットがあるのか」再確認しながらすり合わせが必要なることもあります。もう一つは参加者の感情部分が共有されず、どんな思いがあるのか意外とわかりにくくなります。

最後に隙間にあったコミュニケーションの欠落です。例えば対面会議の前後にあった雑談。これは一気に減った気がします。ZoomのURLをクリックして、画面が映し出され、メンバーがそろったら「では、さっそく」とすぐに本題に入る。そして用が済んだら「退席」押し、さよなら。合理的なのかもしれませんが、何か物足りなさを感じている方も多いのではないのでしょうか。

そこで些細なことですが少人数の時、開始15分は全員がミュートを外し雑談タイムにしたらいかがでしょうか。コミュニケーションの活性化は仕事の成果に直結するので、オンラインであっても大切にしましょう。

新年挨拶

衆議院議員(北海道8区)・薬剤師
逢坂 誠二



山本信夫会長をはじめ、日本薬剤師連盟の皆様にはお健やかに新春をお迎えのこと、心からお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、平素より逢坂誠二の議員活動に対し、特段のご支援とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

新型コロナウイルスのパンデミックは、社会全体に影響を与え、厳しい状況が続いている中で、皆様の献身的なご尽力に心から感謝申し上げます。

世界的な物価高騰や円安は、原薬や資材等の値上がり招き、良質な医薬品等の安定供給を阻害しており、地域における医薬品供給体制の確保のためにも、中間年薬価改定は本来の趣旨目的をふまえ、行われるべきと考えます。

「2025年問題」を目前に、地域包括ケアシステムの中で「かかりつけ薬剤師・薬局」など、さまざまな医療ニーズの拡大と多様化が求められており、多職種・自治体との連携を進めるためにも、統一地方選挙の本年は、特に薬剤師の活躍が重要です。

日本薬剤師連盟の皆様とともに山積する課題を解決していくために、私逢坂誠二は、引き続き、国会の場で主力を尽くしてまいります。この一年が皆様にとりまして、良い年となりますよう心から祈念し、新年の抱負といたします。

参議院議員・薬剤師
本田 顕子



謹んで新年のお慶びを申し上げます。皆様におかれましてはお健やかに新たな年を迎えられたこと存じます。

昨年、神谷政幸先生がご当選され薬剤師議員二人体制が堅持できたことを嬉しく思っています。ご引退された藤井基之先生は日本薬剤師連盟相談役となられ、ご指導をいただけることに感謝しております。

私自身は折り返しを迎えました。組織内候補にご決定いただいたことを次につなげていけるよう頑張っております。

「薬剤師 昨日、今日、そして明日」(日本薬剤師連盟作成テキスト)の中に、薬剤師は一体どうなりたいのだろうかという問いかけがあります。少子高齢社会を迎え、薬剤師はどのような役割を担うのか、国民から何を求められているのかに自身が応えていかなければなりません。健康志向の高まりや医療の高度化が進む中で、薬剤師の先生方による日々の積み重ねが薬剤師の歴史であり、国民からの期待につながっていると 생각합니다。現場の先生方の思いを形にしていきたいため、本年はこれまで以上に現場に足を運び、対話する時間をいただきたいと思っております。

結びに、皆様にとりまして本年が実りある輝かしい一年となりますことを祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに輝かしい新たな年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

皆様のご支援により、昨年7月に国会に送り出していたから半年が経過しました。8月3日の初登壇、その後の党本部における各種会合への出席、10月3日に招集された臨時国会における初めての国会質問等、毎日が初めての経験の連続であり、薬剤師の声を国政の場に伝えるという役割を果たすべく精一杯の努力を続けております。

思い起こすと、2年を超える私の全国訪問活動は新型コロナウイルス感染症に翻弄されたものであったと考えています。組織内候補と決定していた令和2年3月は緊急事態宣言が出されており、訪問活動は宣言が解除された5月25日以降となってしまいました。令和3年2月から始まった全国の支部訪問も同年1月に二度目の緊急事態宣言が発令されている中で活動でした。2年間の活動、そして選挙活動におきましては会員の皆様にご挨拶になりました。改めて御礼申し上げます。

本年が会員の皆様にとって素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げます。新年に当たりましての挨拶とさせていただきます。



自由民主党薬剤師問題議員懇談会が開催される!

令和4年12月5日(月)、自由民主党薬剤師問題議員懇談会(会長・鈴木俊一衆議院議員)が開催された。

世話人会

12時30分より、都内ホテルにおいて世話人会が開かれ、新たに根本匠、加藤勝信両衆議院議員、福岡資麿参議院議員が世話人に、本田顕子参議院議員が事務局長に、また、当日入会が認められた神谷政幸参議院議員が事務局次長に就任することが了承された。

総会

世話人会終了後15時より、衆議院第一議員会館会議室において議員本人75名、代理73名の出席のもと総会が開催された。

鈴木会長の挨拶のあと、新たな世話人、事務局長、事務局次長の就任が了承された。次に、広瀬めぐみ、星北斗、山本佐知子、山本啓介、神谷政幸各参議院議員が新規入会者として世話人会で了承されたことが報告され、これにより薬剤師問題議員懇談会の

会員は245名となった。続いて、日本薬剤師会の課題と要望について、山本会長及び森副会長から説明がなされた。課題と要望は、①令和5年度薬価改定(中間年改定)、②物価高騰への対応、③規制改革関連事項への対応(調剤業務の一部外部委託、訪問看護ステーションの配置可能医薬品の対象拡大)、④医療DXの推進、⑤セルフケア/セルフメディケーションの推進であり、令和5年度予算編成等において配慮してもらうよう要請した。

日本薬剤師会からの説明後、13名の国会議員から意見や質問があり、山本会長、森副会長等から答弁がなされ、活発な意見交換が行われた。発言議員からは、地元薬剤師連盟の日頃からの支援に対する感謝が述べられるとともに、主な意見としては、薬価の中間年改定、規制改革の動き、後発医薬品の安定供給、HPKI、緊急避妊薬等についてであった。意見は日本薬剤師会の主張に共感するという内容であり、16時に閉会となった。



ブロック協議会

第26回 参議院議員選挙 都道府県総括

ブロック総務の 総括

北海道ブロック (北海道)

総務 有澤 賢二



北海道では前回の本田選挙と比べ、689票減という結果であった。6年前の藤井選挙と比べると16票の減に留まり、藤井先生の後任である神谷先生の選挙という意味では、6年前の票数を維持できたことは、評価に値すると考えている。薬剤師の政治に対する意識をどう高めていくのが今後の課題と考える。政治に興味を持たない20代の若手薬剤師の意識が変わらず、彼らが30代、40代を迎え、そこに今の若手薬剤師の姿がある。これは、診療報酬や薬価制度を含め薬剤師、薬局を取巻く様々な、法律、規制、制度等には深く政治力が関与するという事を伝えきれていなかったことも一因である。今後、後援会活動、選挙運動等を通して政治力の意義を伝えることが肝要。一人、一人の薬剤師に政治の関与で政策がどう変わるのか伝えて意識の醸成を図りたい。

東北ブロック (青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県)

総務 齋藤 武



東北全体での得票数は8,714票であり、令和元年の本田選挙より2370票(21.4%)減少。県別でも全ての県で票を落とし、30%以上減少した県が2県、20%以上減少した県が1県であった。名簿の達成率も秋田県以外は全国平均以下だった。

今回の選挙は、新人候補者であり、さらにコロナ禍で候補者本人と直接会うという機会が少なく、名前を浸透させることに苦慮したという意見が多かった。良かった点としては、町野前総務と川島組織強化担当委員を中心に、月一回のweb会議を行い、ステップ表や名簿の進捗状況の確認が行われ、各県の組織強化担当モチベーションを保つことができたことである。

今後は会員数の減少の対策と、いかに役員以外へ裾野を広げていくかが最重要課題と思われる。また、選挙ビラや標旗の活用についても早期から計画が必要である。

関東ブロック (茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・神奈川県・山梨県)

総務 杉浦 邦夫



7月11日6時5分神谷まさゆき先生の当確が、NHKの速報に出ました。我々が、心から待ち望んでいた結果で、今回もまた薬剤師参議院議員の2人体制が維持できた瞬間でした。しかし、関東ブロックも他のブロックと同じように、3年前の本田先生の時と比較して、票を落としている県がほとんどでした。考えられる要因は、コロナ禍・名簿収集の変更・地域薬剤師会でのリアル研修会の減少・どぶ板選挙活動が難しいなど色々あると思います。次回の参議院選挙に向けて多くの反省点を出して少しでも次に役立てていきたいと考えています。コロナ禍によって医療提供体制がここ数年で大きく変わってきています。我々薬剤師が与えられた資格を生かして、国民の求める医療サービスをスムーズに行うのは、どうしても政治の力が必須になります。神谷先生におかれましては、藤井先生以上の活躍を期待いたします。

東京ブロック (東京都)

総務 永田 泰造



今回の参議院選挙においては、若手薬剤師の投票行動を促す対策を実施しましたが、目標数値を大きく下回る結果となりました。神谷氏が統一候補となった時点から、氏の人柄を知らせるため、東京ワンピース(40歳未満)や東京なでしこチームが主体となる、Web会議や神谷氏を交えたリモート懇話会等を地域開催し、同年齢の連携と政治への関心を醸成する会話の場を作りました。更に、プロモーションビデオを自主作成し、様々な講習会で周知活動を実施しました。一連の活動は、ワンピース・東京なでしこの組織強化には繋がりましたが、残念ながら結果に結びついていません。原点に帰ると、選挙に政治に無関心な同僚に対して、なぜ関心を持つ必要があるのかを明確に説明できなかったことが問題点であろうと考えます。次の選挙に向けて原点に戻り活動全体を見直してまいります。

北陸信越ブロック (新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県)

総務 中森 慶滋



「コロナが蔓延する中、世の中は大きく変わっていった」

今回の選挙で政治へのアプローチが変り投票行動が変化した。2019年参議院選挙では自民党総得票数1771万1862票中、記名したのは499万9347票であった。一方、今回は1825万6255票と票を増やしたにもかかわらず記名したのは454万2817票と減少した。この比率は前回に比べ9.13%減少したことになる。神谷氏の得票数も本田氏より減少したが、今回の記名減少状況を勘案すると善戦したことがわかる。とりわけ新潟県の得票数は前回比100.76%と増加したことは特筆すべきことで、福井県96.87%、石川県94.91%であった。

石川県薬剤師連盟ではZoomを活用し「神谷テレビ」を企画した。これは神谷氏とアナウンサーがZoomで対談するテレビ番組で、彼の人柄をあぶりだすことに成功した。山本会長や荻野副会長にもご出演いただき、人生、音楽、食べ物から薬剤師の未来などを語り合った。

東海ブロック (岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)

総務 石川 幸伸



東海ブロックは神谷まさゆき氏の地元のブロックであり、当初から重点地域となっていました。

4県の総得票数は22,240票、前回選挙と比較して3,347票上乗せされたが、これは愛知県が総得票数12,823票で、4,147票を上乗せできたことが要因です。岐阜、三重、静岡では、総得票数9,417票 前回より800票減らした結果となりました。

4県総支援者数は62,082人で前回より16,379人増加していますが、投票行動率は35.8%、全国平均36.3%と比較して少し低くなっています。前回選挙よりかなり力を入れて行動した結果ではありますが、紹介者から支援者につながる手が上手くなってなかったことが伸び悩みにつながったと推察します。次回の選挙ではこの点を改善しないと苦労すると考えています。

大阪ブロック (大阪府)

総務 尾島 博司



大阪府においては第26回参議院選挙でも日本維新の会の圧倒的な強さが示された選挙結果となった。大阪選挙区では日本維新の会の得票数は146万票で73万票の自民党の2倍の票を集め第1位・第3位当選(自民党2位、公明党4位)を決めた。

そんな状況の中で大阪府薬剤師連盟は他党の票は気にせず、いかに自民党の中での順位を上げるかに重点を置き【神谷まさゆき】個人名を書いてもらう選挙活動に徹した。その結果、全国では自民党内15位に比べ大阪府では看護連盟推薦の看護師・弁護士の友納理緒候補を抑え12位の結果を得た。3年後の本田選挙では10位以内を目指し、積極的な活動を展開する。

近畿ブロック (滋賀県・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県)

総務 大迫 芳孝



元号が令和になって2度目の参議院選挙において、神谷候補は、自民党18人中17位で何とか初当選を果たされました。おめでとうございます。

しかしながら近畿ブロックにとっては、大変残念な結果となりました。得票数を前回選挙時と比較してみると、滋賀・京都が30%以上、和歌山・兵庫が20%以上減少しており、各府県で市町村毎の細かな分析を実施し、次回の参議院選挙に繋げる必要があります。

滋賀県でも19市町の内1町のみが増加でそれ以外の18市町は減少しています。本当に情けない結果となり、この紙面をお借りして「大変申し訳ありませんでした。」とお詫び申し上げます。只、2年半後には参議院選挙が実施されます。この反省を直ぐに行動に移さないとはいけません。「政治とは社会の仕組みをアップデートしていくもので、誰もが参加できるのが民主主義です」各府県会長が自ら先頭に立ってプロパガンダします。

中国ブロック (鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県)

総務 吉田 カ久



ブロックとしての得票数は前回比14.57%減少。紹介者施設数は達成率74.8%、紹介者数は152.36%伸びたが、総支援者数については前回よりも28.84%減少した。

今回の2段階の名簿収集の方法について、紹介者を箱物対象にした結果、10・70・30の10である紹介者数を大幅に増やすことにはつながったが、投票行動に結び付く支援者を増やすまでには至らなかったことが反省点。紹介者による確実な投票が今後の課題と感じた。選挙期間中の選挙はがきの送り先に苦慮する面があり有効な送り先の検討を要する。

また、SNSの活用について、多くの会員に登録だけでなく閲覧してもらえらる対策が必要である。

後援団体としては推薦状を出していただいているが、日本薬業政治連盟、NPhA及びチェーンドラッグストア協会の会員の皆様にも更なる支援をお願いできれば更に強い。

四国ブロック (徳島県・香川県・愛媛県・高知県)

総務 古川 清



第26回参議院議員選挙において我々の組織内統一候補「神谷まさゆき氏」が当選され、本当に良かったなと胸をなでおろしているところです。ご勇退された藤井基之先生のDNAを継承しながら、輝く未来の薬剤師の時代を本田あきこ先生と共に切り拓いてくれるものと確信いたします。

さて総括ですが、四国全体としては名簿収集のスタートダッシュは良好で期待が持たれましたが、投票結果は残念ながら前回選挙の85.6%の投票数でした。

まずは、お二人の日々の議員活動をリアルタイムで伝え、名前、顔、魅力をすべての会員さんが知り親近感を持ってもらい私たちの仲間であると感じる努力をすべきでしょう。特に低調であったSNSの登録数は今の大きな課題として早急に取り組んでいきたいと思ひます。一丸となって頑張りましょう。

九州ブロック (福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県)

総務 佛坂 浩



九州ブロックでは、2020年8月に九州ブロック組織強化担当役員のメンバーリストを立ち上げ、各県の組織強化担当役員間の情報共有等を図ることができたのはひとつの有効な方策であったと考えています。

今回の参議院選挙活動における支援者名簿収集については、九州ブロックとして総支援者数が73,410人、総支援者達成率76.5%であり、また施設達成率が85.9%と、どちらの数値も全国平均を上回る達成率を得たことは、九州各県の活発な活動と会員の協力のおかげと感謝申し上げます。ただし、得票数を見てみると22,574票となり、平成28年の23,894票、令和元年の38,971票から下回った得票数となり、令和元年からの得票数伸び率が60%という結果になったことは残念であります。また、投票行動率(得票目標達成率)は54.92%と、全国平均を上回ることができたことは、ブロック各県の活動のおかげと感謝します。今後、支援者名簿数と得票数の乖離をいかに小さくしていくかが、大きな課題であると考えています。

都道府県薬剤師連盟会長会が開催される



令和4年11月2日(水)、令和4年度都道府県薬剤師連盟会長会が都内貸会議室A P 日本橋において開催された。加茂常任総務の司会で開会され、冒頭の挨拶では、山本会長より本年7月に行われた参議院議員通常選挙における組織内統一候補神山まさゆき氏当選への感謝の辞が述べられた。また3年後の次期参議院選挙に向けて活動の方向性が示された。

山本会長に続き、本田あきこ参議院議員が挨拶される予定であったが、衆議院厚生労働委員会での政務官としての答弁のため、関野秘書によりご挨拶の代読が行われた。

座長には山梨県の内藤貴夫会長が選出され議事が進行された。山本会長より9月29日付けで新たに選任された役員・顧問・相談役が紹介され、石井副会長からは役員会の事務分掌、ブロック協議会の開

催状況等が報告された。以後、川田幹事長より薬剤師国会議員の所属委員会、各党や会派に対する要望に関するヒアリングについて、石井副会長より物価高克服・経済再生実現のための総台経済対策、全国藤井もとゆき薬剤師後援会の解散の件、令和4年4月1日〜10月24日の会務報告について説明がされ、荻野副会長からは、第20回統一地方選挙活動助成金、都道府県会員数調査についての報告後に質疑応答がなされた。質疑においては、次期参議院選挙に対する速やかな支援体制の構築やツールの作成、また全国的な支援体制の構築等への要望が上がった。

続いての協議では浜田副会長より、都道府県連盟会員数と会費収入についての現状と今後の課題について、石井副会長より都道府県主催の若手薬剤師フォーラムのあり方について、川田幹事長より自

ブロック協議会が開催される



令和4年度日本薬剤師連盟ブロック協議会が、10月16日(日)山口県にて開催さ

れた中国ブロック協議会を皮切りに全国各地で開催されている。

中国ブロック協議会では、幹事県として吉田力久山口県薬剤師連盟会長、日本薬剤師連盟として荻野副会長が挨拶された後、当日は公務のため出席が叶わなかった本田顕子参議院議員、神谷政幸参議院議員のメッセージが紹介された。

次に、石井副会長より「日本薬剤師連盟の活動」として、令和4年度事業計画、主要会議開催状況、都道府県主催若手フォーラム開催状況、9月10日(土)・11日(日)に開催された全国薬剤師フォーラム(全国幹事長連絡協議会)について報告があり、続いて中原副幹事長より「直近

由民主党薬剤師問題議員懇談会について取り上げられ各種問題について意見交換が行われた。

出席者全員により、今後の方針を確認した後、荻野副会長の閉会の挨拶で本会議は終了とされた。



臨時評議員会において次期参議院議員通常選挙における組織内統一候補に

本田あきこ参議院議員が決定



Facebook
本田あきこ(参議院)



Twitter @89314honda
本田あきこ
(自民党 参議院 比例代表)



E-mail Newsletter
本田あきこ
メールマガジン



honda-akiko.jp
本田あきこ
ホームページ

ホームページ



フォロー・ご登録のほどよろしくお願いたします。

編集後記

サッカーW杯 為せば成る!

サッカーW杯における日本代表の活躍は見事であったと思う。予選リーグの組み合わせを見た途端、死のリーグだと感じ、決勝トーナメント進出をあきらめたものであった。スペイン、ドイツという優勝経験のある国と同一リーグとなったため、格下のコスタリカに勝利し、スペインかドイツに何とか引き分けて、勝ち点4として得失点差で決勝トーナメントに行くしかないと思いつながらドイツ戦の日を迎えた。前半PKで1点先取されたが、後半の動きは素晴らしく見事な逆転勝利となった。

コスタリカ戦に敗れた時には再び決勝トーナメント進出をあきらめたが、なんとスペインに2対1の再びの逆転勝利となり、予選リーグを一位通過となった。中学時代にサッカー部員であった人間としては、夢のような出来事であり、ドーハの悲劇をテレビで見た時の悔しさが一気に吹き飛んだ。クロアチアにPK戦で敗退したが、日本代表の戦いは世界を驚かせ、コロナ禍、物価高騰で暗かった日本の社会を久しぶりに明るくしたのではないかと思います。

世界ランクが下のチームでも、戦略が当たれば勝利できることが証明され、3年後の連盟の戦いにおける勝利も為せば成るのではないかと期待している。ブラボー!

(K-I)

広報委員

- 原口 亨、石井 甲一
- 浜田 嘉則、橋本 昌子
- 和泉啓司郎、小屋敷淳子
- 堀越 博一、渡邊美知子

